

岐阜県職員倫理憲章 恵那農業高等学校実行計画

令和 8 年 4 月 1 日 恵那農業高等学校

平成 1 8 年 7 月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成 1 8 年 1 2 月 2 8 日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり恵那農業高等学校実行計画を定めます。

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法が定める守秘義務や、情報公開制度、個人情報保護制度の趣旨等を職員に徹底し、情報の適正な管理、取扱いに努めます。
- 学校運営等に関する苦情等の処理に当たっては、全ての事案に対して常に公平・公正に対応するため、職員会議、各種委員会において審査し、公正な学校運営につなげます。
- 通勤途上や出張時などの勤務中はもちろん、部活動や実習時に生徒を同乗させるときにおいても交通法規を遵守し、無事故・無違反を徹底します。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 事務用品の在庫管理の徹底・再利用の促進、両面コピーや縮小コピー、印刷機の活用などによる使用枚数の削減をはかり、経費節減を徹底します。
- 職員の時間管理意識の徹底や管理職員による組織マネジメント、職場内での工夫により業務の効率化等に努めます。
- 育友会費、生徒会費等の団体徴収金・学校預かり金についても常に内容及び購入方法等を精査し、保護者の負担が少しでも少なくなるように努めます。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧に業務を進めます。

【取組事項】

- 教育委員会による研修だけでなく、職場においても各種職員研修会等を開催し、専門的知識の習得や指導力の向上など、常に自己研鑽に努めます。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- 農業実習時には細心の注意を払い、機械器具や農業用車両等による事故が発生しないよう安全管理を徹底します。
- あらゆる不測の事態発生時に迅速な情報伝達を図れるよう、職員間の緊急連絡網を整備し、迅速な情報伝達ができるようにします。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、緊急連絡網等により全職員への情報伝達を速やかに完了するとともに、学校緊急連絡メール斉配信システムにより生徒・保護者への情報提供を速やかに行います。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 週1回開催している朝会において常に職員間の情報共有を図るとともに、職員会議や各担当の企画委員会等を常時開催し、業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図るとともに、課題やその解決方法等について自由闊達な議論を行います。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 職員会議、各種企画委員会、生徒会、部活動等を通じて、環境問題意識の啓発に努め、校内はもとより、学校周辺の環境美化に努めます。
- 時間外勤務の縮減や、年次休暇の計画的な取得の促進等により、地域活動等が行いやすい職場環境づくりに努めます。

8 県民との対話を大切に、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 本校のホームページやマスコミなどあらゆる広報媒体を活用し、学校運営や生徒の活動状況、近隣住民とのふれあい等について適時・的確に提供します。
- 育友会や学校運営協議会委員などからの意見を聴き、学校運営に活かします。また、農産物販売所「彩り広場」の来客者の声に耳を傾け、アンケート結果などを踏まえて県民に愛される農業高等学校となるよう努めます。